

# あすなろ通信 34号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局：〒728-0006三次市畠敷町36番地7

(Tel 0824-55-6301 Fax 55-6302)

発行日2018年1月20日

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ 理事長 松本信司



大寒を過ぎ、厳しい寒さが続いていますが、皆様方にはますますご盛業のこととお慶び申し上げます。「NPO法人みよし子育て

て・学び支援あすなろ」をご支援いただく企業・団体・個人の皆様には心より感謝申し上げます。本年も変わらぬご支援の程、よろしく願います。

### 改革から二年

さて「NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ」では二〇一六年、学力支援教室を大幅に縮小するという改革を行いました。改革の大きな理由は、皆様もご存知のように、NPO法人あすなろは多くの市民の方や企業・団体の皆様の寄付金によって運営されています。支援してくださる皆様はNPO法人あすなろの設立理念に賛同して支援してくださっているのだと思います。その設立理念である経済的に苦しい家庭の子どもたちにも低廉な授業料で学力保障をしていく、ということが年月が経つにつれ、次第に薄れてきている状況が出てきました。こういう状況では支援をお願いすることが難しくなった、と理事たちは感じていました。

そこで、今一度原点に立ち返り出直そうと決意し改革に踏み切った次第です。現在の状況は一年から三年まで一三名の塾生で内ひとり親

家庭の生徒は九名です。二〇一六年から「経済格差を学力格差にしてはならない」という趣旨を全面に出しながら募集した結果が今のあすなろ塾の現状です。社会的評価として「あすなろ塾は経済的に苦しい家庭の子が行く塾」という評価をいただいているようです。

### 本当に好景気？

二〇一八年一月四日のニュースは、「東京株式市場で日経平均株価は大幅に反発し、上げ幅は一時六〇〇円を超え、大発会としては一九九六年以来、二二年ぶりの上げ幅となった」とテレビで大きく報じられました。世の中は大変景気が良いようですが、毎日の生活に欠かせない食料品の値上げや、ガソリン・灯油等燃料の値上げの中で、私たち庶民は景気の良さを実感することができない現状です。景気が良いのは株をしつかり保有している一部の富裕層であり、格差は広がるばかりです。

### 貧しさは次の世代に

子どもの貧困という問題がここ数年大きな話題となり、NPO団体等がその対策に一役かっていることが新聞テレビ等でよく報じられています。この問題で最も重大な点は、貧困の連鎖つまり格差の再生産があげられます。親世代の経済状況が、子ども世代の経済状況に大きな影響を与えているという事です。

経済協力開発機構が



二〇一六年に公表した資料の中に、国内総生産（GDP）に対する教育機関への支出割合が日本は三・二%と先進国の中では最も低い位置にいます。これは教育に対する公的支出が乏しく、子どもの教育環境は家庭の経済状況に大きく左右されるということを示しています。つまり子どもにどれくらいお金をかけたかで子どもの進路は決まる、と言っても過言ではないかもしれません。

### この塾でも学力を伸ばす

前にも述べたように、あすなろ塾生の約七割の生徒がひとり親家庭の生徒です。ひとり親家庭の貧困率は五割を超え、就労による収入は平均一八一万円です。塾や習い事などの学校外教育に多くのお金をかけられないのが現実で、内閣府が二〇一一年に実施した調査によると、子どもが塾や習い事をしていない理由で、最も多かったのは「経済的に余裕がないから」（五四・七%）でした。そんな中ですが、どの保護者も子どもにはしっかりと学力を付けてやりたいと思っただけで、塾探しをします。どの親も子どもに対する気持ちは同じです。昨年何とかが高校に！という思いから、九月から三年生の入塾希望者が数人訪ねてきました。そのような状況の中で所得格差が進学格差となり就職格差につながる。といくら言っても物事は解決しません。私たち指導者に出来る事はただ一つ、生徒一人ひとりに今自分が置かれている立場を自覚させ、それを原動力とし、やらざるを得るのではなく、自分でやる力つまり「自学」の大切さを自覚させることです。



## 高校入試 いよいよ本番！

いよいよ高校入試が始まります。私立高校では一月中旬から推薦入試が始まり、二月初旬には一般入試が実施されます。公立高校でも二月二日(金)に選抜(一)、三月六日(火)・七日(水)が選抜(二)、三月二二日(木)に選抜(三)という日程で、県内一斉に実施されます。

あすなる塾の塾生たちも、いよいよ本番を迎えることとなります。

現在八名の三年生が在籍していますが、ここまでみんなよく頑張ってきました。しかし、勝負は今から本番までの頑張りです。決して後悔のないよう努力を積み重ねてもらいたいと考えます。

私たちあすなる塾のスタッフも最大限の支援を決意しています。今回の「通信」にも、夏に書いた何人かの作文を載せることとします。

塾生それぞれが、あの頃の決意を思い出し、以後の努力が無駄にならないよう、ここからさらに頑張る糧になることを願っています。

### 受験に向けて

僕は三年生の夏から本格的に受験勉強に取り組もうと思っています。

今までは得意な科目を中心に勉強していたけど受験に備えて苦手な科目も良い点が取れるように勉強していくつもりです。そして、夏休みは宿題を早く終わらせてテスト勉強をして新学期に臨まなければなりません。

僕はテストで良い点が取れても授業中やる気がないとみられているので、毎日の授業をもっと意欲を持って取り組もうと思います。

また、ときどき提出物を出していないこともあったので、欠かさずに提出します。こうしたあたりまえのことをまずしなければなりません。

僕は部活ももう引退なので、これからその分もつ

と勉強時間を増やし、行きたい高校に行けるよう、しっかりと勉強を頑張っていこうと思います。

### 私の目標

三年生 E

夏も終わりに近づき、中学三年生の私は受験勉強を本格的に始めました。そこで、私は受験勉強をするにあたって、一つ決心したことがあります。それは、「他の誰よりも努力し、勉強をする」ということです。

なぜ、このような目標を立てたかという点、将来の夢を叶えるためには努力が必要だと思うからです。私は絶対叶えたいという夢があります。しかしその夢を叶えるのは難しく、今の自分にはとても遠い夢です。だから、私は他人より努力して、その夢を将来絶対叶えられるようになりたいと思っています。

受験までの数カ月、私は自分の限界まで勉強を続けたいと思います。それは、決して容易なことではないけれど、最後まであきらめずに努力していこうと思っています。

### 受験に向けて

三年生 F

受験に向けて、課題を最後までやりきること、小一から今までのことをきちんと復習していこうと思う。一・二年の時は授業も集中せずに宿題もきちんとしていなかったから過去問とかも全く解けていなかった。勉強しろなどと言われても勉強の仕方や、覚え方が分からなかった。テストで低い点をとつてもあまりなんとも思わなかった。しかし、受験が近くなつて、今はこのままではいけないと思つた。だから、



先生にやれと言われたものはきちんとやって、今まで分からなかったことなども、先生や友達などに聞いて、復習していこうと思う。最後までやり通せるように完璧に苦手な問題もなくしていこうと思う。二・三学期は色々苦勞すると思うけど、それをのりきつて自分の行きたい志望校へ合格できるように頑張っていこうと思う。テストでもあきらめず解こうと思う。

三年生 G



### 特集！あすなる講師陣による勉強のツィ

勉強は勉強しなければ絶対にできるようにはなりません。昔から予習・復習の大切さが言われ続けたのは当然のことです。

しかし、同じ努力をするにしても、効率の良い努力の仕方というものがあります。ただただ勉強量を増やしていけばどんどんできるようになるとは言えません。

もし頑張ろうという気持ちを持っているなら、「勉強のコツ」を踏まえた、自分にあつた勉強法を身につけることが大切です。

生徒それぞれが学力を高めていくためには様々な要素、条件が必要だと考えます。様々ありますが、その中でも代表的なものに次の三つがあげられます。

- 勉強をするこの目的(大それたものである必要はありません)
- 自分なりの勉強法の確立



○ 勉強をやり続けることの充実感  
これらの中の「自分なりの勉強法の確立」をめざすとき、今から紹介する「勉強のコツ」はどうしても意識しておかなければいけないことだと考えます。以下に紹介するのはあすなろ塾の講師陣の主張する「勉強のコツ」ですが、ぜひ参考にしていただきたいと考えます。

## 理科を学ぶにあたって

理科講師 井田浩二



理科は予習しにくい科目だと思いません。だから復習が中心となると思います。今日学習したことはその日のうちに復習しよう。また理科はそれぞれの内容が関連しています。前の学年で学習したことを再度復習して授業に臨んでください。授業では、先生の話をよく聞くこととは当たり前。ただ聞くだけでなく自分のこれまでの経験と重ね合わせながらイメージを膨らませることが大切です。先生が何度も繰り返すことは重要なことです。

### ノートの作り方

黒板(ホワイトボード)の字を一字書いてはまた黒板を見て一字書くというようなことをする人がいます。これはダメです。

板書をノートに書く時は、できるだけ文章として覚えながら書いてください。こうすることにより理解が深まると思います。

また、先生の話の中で、重要だと思ったこと・よく分からなかったことなどをノートにメモしておく復習の時再確認すればよいと思います。

一年生二年生の間は、授業を大切に、今学習していることを確実に身に付けていく。三年生になると受験に向けての取り組みを始めよう。

問題集を用意してください。問題集は一冊だけにします。その一冊を確実にやり抜きます。問題集をたくさん使うと、やらないところができてどれも中途半端になってしまいがちです。

一冊を三回やりましょう  
やりきるために計画を立てます。無理な計画を立てずに、毎日確実にやれることを考えます。

例えば、一日に二問解くと一か月で六〇問できます。四か月で二四〇問です。これなら毎日できると思いませんか。無理のない計画を立てて、毎日やりきるのです。

よく言われるように「学問に王道なし」です。毎日の小さな積み重ねが結果となります。

「王道」の意味は自分で調べてみてください。健康を祈ります。

## 社会科の受験勉強

社会講師 水岡環

「社会科は、覚えることが多いから嫌いだ。」という人が多い教科です。しかしながら、社会科は、「覚えてナンボ」という教科なのです。基本的な知識がなければグラフを見ても統計を見てもそれが表しているものを読みとることはできません。基礎的な事項は覚えなければいけません。そのためにも、勉強をするときは、机の上に辞書をおいておきましょう。分からない語句が出てきたらすぐに辞書を開いて調べる習慣をつけておくと、知識量が飛躍的にアップしますよ。

さて、最近の公立高校入試では、基礎的な知識を使って、グラフや統計、地図が表すものを



読み取り、文章で解答するという記述問題が数多く出題されるようになりました。そこで、受験における記述問題の解答を作るときに注意すべきことをまとめておきます。

一、何を問われているのかを正確につかむ。問われていること以外を記述しても、ほとんど意味がありません。たとえば、「〃の特徴を書きなさい。」「このきまりが出された目的を書きなさい。」「〃のしくみについて述べなさい。」「など

二、問題文の条件をチェックする。たとえば「○△×について十五字以内で述べよ」という問題では、「。」「も含めて十五字以内で書く。」「十五字程度で述べよ」↓十字〃二十字程度で書く。「簡潔に述べなさい」↓長くなりすぎないように、できるだけ一文で書く。「〇〇の語句を使って書きなさい」↓文のどこかで必ず使う。

三、解答の文末の言葉遣いに注意する。「〃の理由を書きなさい」という問題なら、解答の文末は、「〃のため。」「または〃ので。」「〃だから。」「と書きましょう。」「〃は、どのような制度ですか。」「〃という制度。」「〃の変化した点を書きなさい」↓「〃という点。」「

四、「使わない方がよい」言葉もあります。「めっちゃ」「すごく」などの話し言葉。↓「とても」「大変」と表現しよう。「どんな」「グツと」

次号で数学科・英語科の「勉強のコツ」を掲載します

を助けます。ドリルや辞書を使って基礎的な知識を増やす勉強を

幸せに生きるとは

「幸せの国」として知られる、ヒマラヤ山脈南側に位置するブータン王国。

二〇一一年一月に来日したワンチュク国王とジェツン・ペマ王妃は一週間足らずの日本滞在中、ブータン旋風を巻き起こしました。

「幸せの国」として紹介されるブータンを理解するのに欠かせない言葉は、一九七二年に第四代国王が提唱したGNH(グロス・ナショナル・ハピネス＝国民総幸福)です。これはGNP(国民総生産)やGDP(国内総生産)とは異なり、経済力はなくても国民が幸せに暮らせる国、無理な開発をせず、自然環境を守ることが最優先、暮らしの中の伝統文化を守り、近代化をあせらず、ゆっくり発展するという考え方です。

昨年末、外交関係樹立三〇周年を記念して広島県立美術館で開催されていた「ブータン しあわせに生きるためのヒント」を見に出かけました。ブータン王国から日本初公開の美術作品・文化資料約一四〇点が出品され、ブータンの伝統や文化、その世界観や価値観が紹介されていました。

前評判は「心が癒やされる、すばらしい」というものもありましたが、「仏教関係の展示物以外は、美術館で展示する意味があるのか」との酷評も耳にしました。しかし、一つひとつ展示を見て館内を進むうちに、言い表すことのできない安心感に満たされる自分気がつきました。

いま、国際社会は、自国の利益を最優先に考える方向を向いているように思えます。自国の利益を守るためなら、国連や国際社会が共通に是認してきた常識を否定し、国際社会が確立した協定から離脱することもいとわれない。たとえそれが、格差や競争を拡大し、差別を助長し、環境を破壊することになろうともなりふり構わない。自国の利益優先を唱える新しい保守(?)の台頭が近年吹き出しているように思います。利己主義が堂々と主張できる社会になってしまったように感じます。EUからの離脱、TPPからの離脱、パリ協定からの離脱、力を背景とした恫喝、ごり押し…。自国の安全保障という言葉で、一なせそれが国の安全、国民の生命・財産を守ることに「力に

よる平和」政策に追随する国の首相も同様ではないか。

日本社会は、近代化、経済的發展を追求する余り、大切なものを失ってしまい、都会と田舎の格差、貧富の格差など大きな問題を抱えてしまったのではないかと。

そのようなもやもやを抱きつつ日々暮らしている中で、この「ブータン展」に出逢って救われた気持ちになったのは私一人ではないでしょう。人々の生活ぶりを紹介する写真にそえられていた言葉のそれぞれが、また、意味深長で、読めば読むほど「幸せに生きるとは」、「豊かさとはなにか」と問いかけてきました。

・ 幸せとは、自分の持つていているものを喜ぶことです。

・ もしあなたが悪いことをすれば悪いことが自分に返ってきます。もし善良であればいいことが自分に返ってきます。

・ 子供は宝だよ。自分の子供じゃなくても大切な家族だよ。

・ 欲望があるから、苦しみがあるのです。常に自分の心を見なさい。そして、心が乱れていたら、心をコントロールするのです。それが幸せに生きるコツです。

主催者の挨拶から抜粋した次の文を是非じっくりと読んでみてください。

二〇〇五年の国勢調査で「あなたは今幸せですか?」との質問に「とても幸せ」「幸せ」と回答した人が、九七パーセントを占めました。この結果に、世界中が驚きました。近代化至上主義として発展してきた国々は様々な歪みを生むことになり、人類の未来は本当にこのまま進んで行って良いのか、何を幸せと考えれば良いのか悩みも急増しています。

ブータンの人々のくらしを丁寧に見つめることは、ブータンの魅力だけでなく、私たちがこれからの時代を生きていく上での、しあわせになるためのヒントが見つかるかもしれません。

(文責 守本秀樹)

「支援いただいた企業・団体」

・ ミヨシ電子株式会社

(三次市東酒屋町)

・ (株)三次衛生工業社

(三次市四拾貫町)

「ご支援いただいた皆様」

・ 山田公主 (三次市島敷町)

・ 竹折豊子 (三次市三良坂町)

・ 瀬戸三歳 (三次市三良坂町)

・ 匿名 (三次市十日市南)

・ 弓戸清子 (福山市東手城町)

・ 中村公子 (三次市十日市)

・ 廣川幹二 (三次市高杉町)

・ 匿名 (庄原市高町)

・ 山根洋子 (三次市甲奴町)

・ 半田孝江 (三次市三良坂町)

・ 瀬川順子 (三次市三良坂町)

・ 匿名 (三次市南畑敷町)

・ 四車ユキコ (三次市南畑敷町)

・ 木倉敬之 (東京都東久留米市)



塾 生 募 集

2018年度

あすなろ中学部

- 少人数&個別指導で学べます。
- コースは2種類。
  - ◇英数コース (週2回) 月 14,000円
  - ◇理社コース (週1回) 月 6,000円
  - ◇あすなろ塾は授業料以外の経費(テキスト・模擬試験・夏季講座等)は徴収しません。
- 授業料減免措置があります。
  - ◇ひとり親家庭は半額免除
  - ◇生活保護家庭は全額免除

入塾受付

期間 2月27日(火)~3月2日(金)

時間 16:30~18:00

場所 あすなろ塾

○ 電話でも受け付けます

○ 0824-55-6301

